

一般質問発言通告書

発言順位 10番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年11月28日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 10番 河野 月江

質問事項1	市立小中学校体育館へのエアコン設置をもとめて
具体的内容	気象庁が9月1日に発表した今年の夏の天候のまとめによると、今夏は全国的に平年を大きく上回り、1898年の統計開始以来、平均気温偏差は過去最高を記録しました。気候変動の影響により、国内の熱中症死者数は増加傾向が続いており、近年では年間千人を超える年が頻発するなど、自然災害による死者数をはるかに上回っています。こうした中、国においても今年4月にはいわゆる「改正気候変動適応法」が成立し、熱中症対策の一層の強化が図られようとしています。 子どもたちにとっては、一日の大半を過ごす学校における一層の対策、環境整備が急務です。当市では普通教室へのエアコン設置は令和元年度に完了しているものの、体育館のエアコンは未整備であり、現在はスポットクーラーの導入で対応されています。この間体育館へのエアコン設置については複数の議員がとりあげている中で、市当局からは、他の優先すべき改修との兼ね合いや、三島市学校施設長寿命化計画における改築・改修計画との兼ね合い、老朽化した体育館での耐熱性機能確保の課題等の考えが示され、今後の効果的かつ合理的な整備方法については調査・研究していくとされてきました。改めて、この間の熱中症対策に係る位置づけと重要度の変化、全国の動向をふまえて、整備についての見解を伺います。
	1 気温に係る使用・利用に関する基準と使用・利用中止（見合わせ）状況
	2 全国・県内における整備状況
	3 体育館の断熱性能の確保、スポットクーラーでの対応の状況
	4 今後のエアコン整備についての考えと当面の対策
質問事項2	三島駅南口東街区再開発事業について
具体的内容	本事業は現在、10月に再開発組合が事業計画変更の県による認可を受けたのち、権利変換計画の認可申請を行い、県による認可を待つ状況にあります。市民にとっては引き続き、“今日の経済状況のもとで、多額の予算を投入するに値する事業であるか否か”、“今後どれだけの公金を投入する事業になるのか”が注目されます。整備される医療施設、費用便益比、補助金を含む市の負担に関連して、以下の点を伺います。
	1 広域健康医療拠点について
	(1) 広域健康医療拠点の医療機能として高機能健診センターが浮上した経過
	(2) 高機能健診センター導入の進捗状況
	(3) 市が想定する「広域」と利用者
	(4) 地域医療への影響や地元医療機関に係る課題、市と医師会との協議の現状
	2 補助金および市の新たな負担額の発生について
	(1) 再開発事業単独で費用便益比が1.0を維持できる事業費、それに対応する補助金総額と市負担分は、それぞれいくらだったのか。
	(2) 補助金の対象外とした再開発組合の負担となるのはどの部分でいくらか。
	(3) 今後工事費がさらに上がった場合の負担はどうなるか。
	(4) 都市再開発法第39条第1項（経費の賦課徴収）の定めにある参加組合員以外の組合委員が負担する賦課金は、どのような場合に徴収されるのか。